

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	技術表現法
科目基礎情報					
科目番号	53130		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年	3	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	適宜、配布する資料/プリント資料、参考資料:「知的な科学・技術文章の書き方」塚本真也・中島利勝(コロナ社)				
担当教員	森上 伸也				
到達目標					
(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。 (イ)インターネットに関する基礎的な知識を理解し、実践的に使用できる。 (ウ)コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解し、簡単なデータ処理ができる。 (エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目(ア)	コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し、実践的に使用できる。		コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し、使用できる。		ウェアに関する基礎的な知識を理解できず、使用できない。
評価項目(イ)	インターネットに関する基礎的な知識を理解し、実践的に使用できる。		インターネットに関する基礎的な知識を理解し、使用できる。		インターネットに関する基礎的な知識を理解できず、使用できない。
評価項目(ウ)	コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解し、複雑なデータ処理ができる。		コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解し、簡単なデータ処理ができる。		コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解できず、データ処理ができない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 C1 実験・実習を通して、計測技術やデータ分析法、報告書作成能力を修得する。 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力					
教育方法等					
概要	科学者・技術者には、独創力はもちろん、熟達した科学・技術に関する文章作成およびプレゼンテーションの能力が要求される。そこで、技術表現法(報告書作成・プレゼンテーション技術)の基礎技術を習得することを目標として、本講義で、まず、理解しやすい報告書の作成・プレゼンテーションを行うための基礎知識を学び、この際に必要となるコンピュータやアプリケーションの使用方法を身につける。これらを習得した後、実際に作成する様々な場面を想定して課題演習を行う。				
授業の進め方・方法	授業の前半は基礎的な知識を学び、後半は各自で作業を行う演習時間を設ける。				
注意点					
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
必履修					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	技術表現法概要・コンピュータおよびネットワークシステムの利用方法	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。 (イ)インターネットに関する基礎的な知識を理解し、実践的に使用できる。	
		2週	ワープロソフトの利用方法・文章作成の練習 創作課題: 研究背景の設定	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
		3週	文章作成の基本ルール・知的な文章作成技術 創作課題: 研究目的の設定	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	
		4週	科学・技術論文の構成とその書き方 創作課題: 研究方法の設定	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	
		5週	科学・技術者の遵守すべきルール 創作課題: 調査と結果・考察	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	
		6週	技術文章における効果的な図の種類と作成手順 創作課題: 調査と結果・考察	(ウ)コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解し、簡単なデータ処理ができる。	
		7週	表の作成方法 創作課題: 調査と結果・考察	(ウ)コンピュータを用いたデータ処理の基礎を理解し、簡単なデータ処理ができる。	
		8週	知的なプレゼンテーション技術 創作課題: 結論と今後の課題	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
	2ndQ	9週	科学・技術文章の最終チェック 創作課題: 中間提出	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
		10週	知的なプレゼンテーション技術 創作課題: 発表原稿の作成	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
		11週	知的なプレゼンテーション技術 創作課題: 発表練習	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
		12週	科学・技術文章の最終チェック 創作課題: 資料の修正、提出	(エ)ワープロ・表計算・プレゼンテーション用ソフトを使用して、技術報告書を作成できる。	
		13週	最終発表会	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	
		14週	最終発表会	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	

		15週	最終発表会	(ア)情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	後13,後14,後15
評価割合						
			課題	合計		
総合評価割合			100	100		
基礎的能力			100	100		